

ともかき



29年卒 岡田 一夫

級友と ともに

卒業してから、四十七年、我が青春は遠くなりまして。人生日々新たなりで、新しいことを覚えると、古いことが押し出されて、その容量不足にいつも苦労しています。高校時代の想い出も断片的になつていますが、授業前の先生を迎えるとき教室内の空気が私達、自らがここに学びに来ている。その緊張感が

今も忘れられません。現在、伊豆大島に住んでいます。仕事の都合で昭和五十二年、品川区から転居し、去年三月に仕事も後継者に譲り、これからの私の、賞味期限を考えています。私達のクラス会には名幹事がいて、いろいろな企画で交友を温めています。昭和六十一年の三原山大噴火で全

島避難の時には、級友からお見舞いを、また激励の会を開いていた。大き大交お世話になりました。最近では「我々も歳だから、これからは一年に二回くらいの会を持つたら」との提案もあり、また、「せめて、心だけでも若さをよみがえらせよう」など。級友の皆さんの賛同も得ているようです。青葉会皆さんのク

ラス会活動はいかがですか。「ともかき」二十四号で平成二十年以降は学校の統廃合により云々とありました。私も地域の支持をうけ、大島町議会の議員をしておりませんが、町でも少子化の影響で、現在七校の小学校を三校への統廃合を計画しており、今後議会で審議されます。児童の教育環境を守りながら、地域との整合性を考えてゆくこととなります。時代の流れとは云え淋しいことです。

これからの日々は、懐かしい級友との交流を深めながら、地元大島町の発展に努力したいと考えております。

同期会の 集い

28年卒 鳴戸 錦子

昨秋の十一月二十五日(土) 28年卒の同期会が開かれました。

会場は銀座の歌舞伎座前のレストラン、出席は十四人でした。

以前は隔年でしたが、何時の頃から毎年開こうと言うことになりました。

と言つのも七十周年の同窓会に元気に出席した阿川洋子さんがこの一年の間に亡くなりました。いつも人一倍元気で活動的だっただけに残念でなりません。

話題は家族、旅行と楽しいお話、また、ご主人を亡くされた方もあり、病気を克服されたこと、両親や舅の介護の話になり数年間、大変な苦労をした人もあり、今、ご自分の体調が優れずとのことには人ごとではなく聞きました。

その中で出席してくれたことは幹事役として嬉



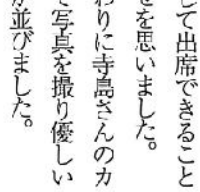
(銀座 サロンド・サンクにて)

そして出席できることの幸せを思いました。終わりに寺島さんのカメラで写真を撮り優しい笑顔が並びました。

これからもこの縁を大切にしていきたいと思つていきます。

しいことでした。子育ても終わり、還暦から数年たつ年代ですが、夜字で学んだ仲間同志何でも本音で話し合えることは、この上もない交友関係だと思えます。

毎年開いていれば今年も都合がつかずとも来年があればとの思い、そして久しぶりの出席の人もあり楽しいひと時を過ごしました。



思い出

44年卒 大村 静雄

今私は、豊かな自然の郷里で、休日には東

北方面の山々の山行を楽しみに、毎日を送っています。そんな折り原稿を依頼され、卒業して何年になるだろう。東京を離れて何年かななんてふと思いま

した。何年前だったか、二人の子供達がお父さんの学校は東京の何処なのと聞かれ東京タワ

ー見学ついでに学校を見せた事がありました。その時、学校が残つていて良かったなと心からそう思つた事を思い出します。

体育祭で種目を決める時、先生方の反対を押し切って棒倒しをやつた事、オセンチ山で仲間とホテルを飛ばしたり、会社で飲み会があつたと嘘を言い酒の臭いをさせて授業をう

けた時の先生の暖かさ、一度は学校を辞めようと思つたが好きな人ができ、顔が見たくてついつい通い続けた事、思い出はつきません。どうか私の学校の思い出とともに青葉会が持続されるよう今後も微力ながら協力させて頂きますので宜しくお願い致します。

乱文でゴメンナサイ